

事業名 **体育施設開放事業 (学校プール開放)**

政策	豊かさ創造性を育む生涯学習環境の充実	施策	市民スポーツ活動の充実	基本事業	スポーツ・レクリエーション施設の充実		
部名	教育部	事業開始年度	- 年度	区分1	継続	実施計画事業認定	非対象
課名	生涯学習課	事業終了年度	- 年度	区分2	単独		

事務事業の目的と成果	
対象	開放校及びその周辺地区の児童・生徒及びその保護者
手段	学校プールを夏季休業期間中、業者委託により開放・管理する。プールの水質管理のほか、開放校毎に開放時間中2名のプール監視員を配置し、原則、月曜と水曜を休場日としている。午前10時から正午までと午後1時から午後3時30分まで開放している。
意図	学校プールを夏季休業期間中開放し、水泳に親しむ機会を提供することで、小中学生の体力・健康増進を図る。また、土日曜日も開放することで、水泳を通じて子供と保護者のふれあいも深めるねらいがある。

事業量・コスト指標の推移							
区分		単位	20年度実績	21年度実績	22年度予算	23年度予算	目標
対象指標1	開放校区の児童・生徒(中学生)数	人	10,814	10,552	10,674	9,883	
対象指標2							
活動指標1	開放校数	校	17	17	17	17	
活動指標2	開放日数	日	16	17	14	14	
成果指標1	利用者数	人	14,262	11,752	12,700	10,000	
成果指標2							
単位コスト指標							
事業費計(A)		千円	4,002	3,942	4,155	4,166	0
正職員人件費(B)		千円	1,254	1,660	1,666	1,629	0
総事業費(A)+ (B)		千円	5,256	5,602	5,821	5,795	0

事業単独評価、施策内での相対評価、財政状況に基づく改革案 (2月時点)	

23年度への業務改善方向性

維持	見直し	新規	休廃止	その他
----	-----	----	-----	-----

- 維持 : 現状の目的や方法に変更がなかつ23年度実施する事業
- 見直し : 現状の方法や事業量を見直し、成果指標の向上やコスト改善をおこなう事業
- 休廃止 : 21年度もしくは22年度に「休止」、「廃止」、「終了」する事業
- 新規 : 23年度より新たに新規事業として実施する事業

		改革方向性(コスト)		
		減少	維持	増加
改革方向性(成果)	向上			
	維持			
	放低下			